T&D
T&D保険グループ

交付運用報告書

Jプレミアム・インカムファンド（年4回決算型）

商品分類（追加型投信／国内／株式）

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「Ｊプレミアム・インカムファンド（年４回決算型）」は、2022年10月28日に第１期決算を行いました。

当ファンドは、外国投資信託証券である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－日本株式プレミアム戦略ファンド（適格機関投資家限定）（分配型クラス）」への投資を通じて、実質的に日本株式プレミアム戦略のパフォーマンスを獲得することで、安定的なキャッシュフローの確保を目指し、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第１期（決算日　2022年10月28日）
作成対象期間：2022年７月27日～2022年10月28日

第１期末（2022年10月28日）	
基準価額	10,047円
純資産総額	671百万円
第１期	
騰落率	1.0%
分配金合計	50円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

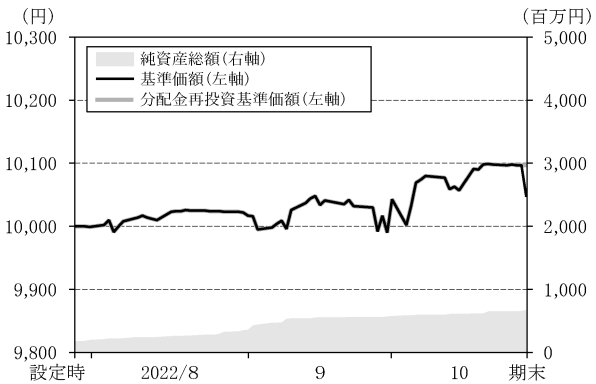
当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞
右記ＵＲＬ⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108－0014　東京都港区芝５－36－７
お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

運 用 経 過

基準価額等の推移



設 定 日 : 10,000円
第１期末 : 10,047円(既払分配金50円)
騰 落 率 : 1.0%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2022年７月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」において、プットオプションの売却によるプレミアムがプラス寄与した結果、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)	1.3%
マネーアカウントマザーファンド	△ 0.0

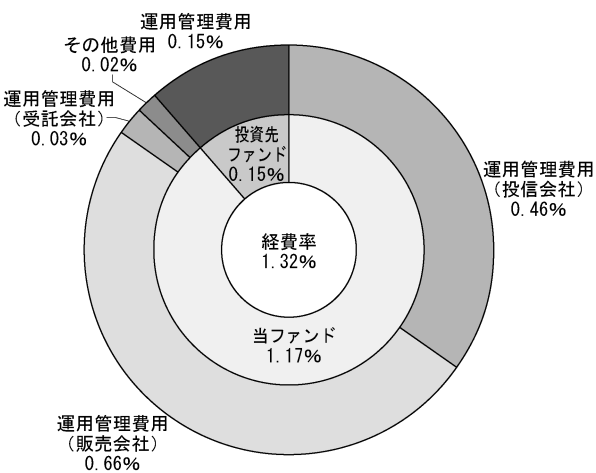
１万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/７/27～2022/10/28		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	10,019円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	30円	0.296%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(12)	(0.118)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(17)	(0.170)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.008)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	31	0.301	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。
(注) 「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)
■経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

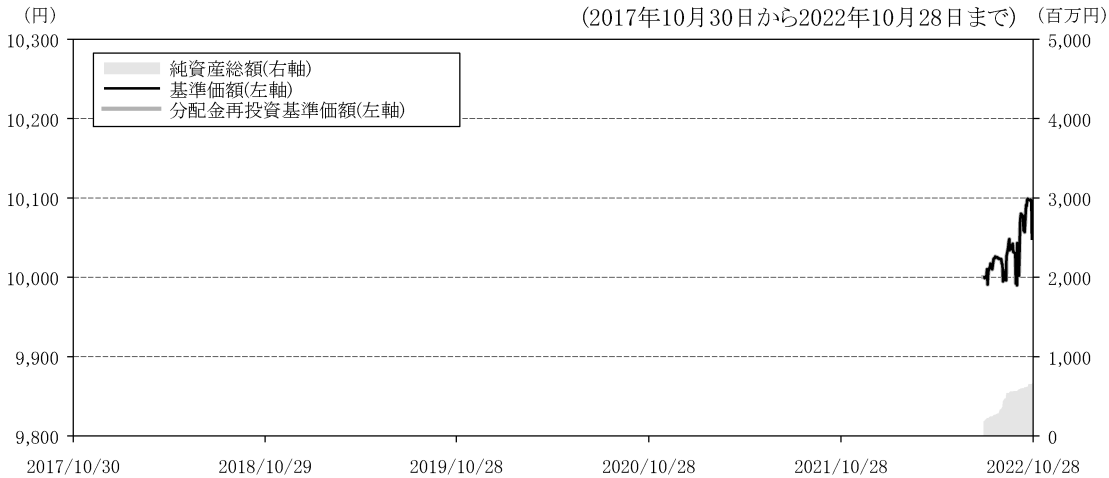
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(１口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は、1.32%です。



経費率 (①+②)	1.32%
①当ファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

(注) ①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。
(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2022年７月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2022年７月27日 設定日	2022年10月28日 決算日
基準価額(分配落)　(円)	10,000	10,047
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	50
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	1.0
純資産総額　(百万円)	180	671

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。
(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

投資環境

■ 株式市況

日経平均株価は、設定日から2022年８月中旬にかけては、４－６月期決算の発表が本格化するなかで、好決算銘柄を中心に買いが入ったことや、米国のインフレ懸念がやや和らぎＦＲＢ(米連邦準備制度理事会)が利上げペースを緩めるとの見方が広がったことなどを受け上昇しました。８月下旬から９月末にかけては、政府が新型コロナウイルスの水際対策の緩和を検討していると報じられたことなどが支えとなる場面もありましたが、欧米の中央銀行高官からタカ派的な発言が相次いだことや、欧米で長期金利が上昇したことなどから、世界的な景気減速が懸念され下落基調で推移しました。期末にかけては、堅調な米雇用統計の結果を受け、米国の金融引締めに対する警戒感が高まる場面もありましたが、ＦＲＢが利上げペースを減速するとの思惑が広がったことや、米長期金利の上昇に一服感が見られたことを背景に米国株式市場が上昇したことなどを受け、やや値を戻す展開となりました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、期首の△0.15%に対し、期末も△0.15%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」を概ね高位に組入れ、「マネーアカウントマザーファンド」にも投資を行いました。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)

クレディ・スイス・インターナショナルを相手方とする担保付スワップ取引を通じて、日経平均株価を原資産とした満期約１ヵ月、権利行使価格が日経平均株価の92%となるプットオプションの売却を行う戦略である日本株式プレミアム戦略の投資成果を実質的に享受することを目指す運用を行いました。

■ マネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は０%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

１万口当たりの分配金(税込み)は基準価額水準、市況動向等を勘案し、50円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

(単位：円・％、１万口当たり・税引前)

項目		当期 2022年７月27日 ～2022年10月28日
当期分配金		50
	(対基準価額比率)	0.495
	当期の収益	50
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		46

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)

担保付スワップ取引を通じて、実質的に日経平均株価を原資産とした満期約１ヵ月のプットオプションの売却を行います。売却するプットオプションの権利行使価格をプットオプション構築時の日経平均株価の92％とすることで、日経平均株価の下落による損失を低減しつつ、プレミアムの獲得を目指します。

■ マネーアカウントマザーファンド

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

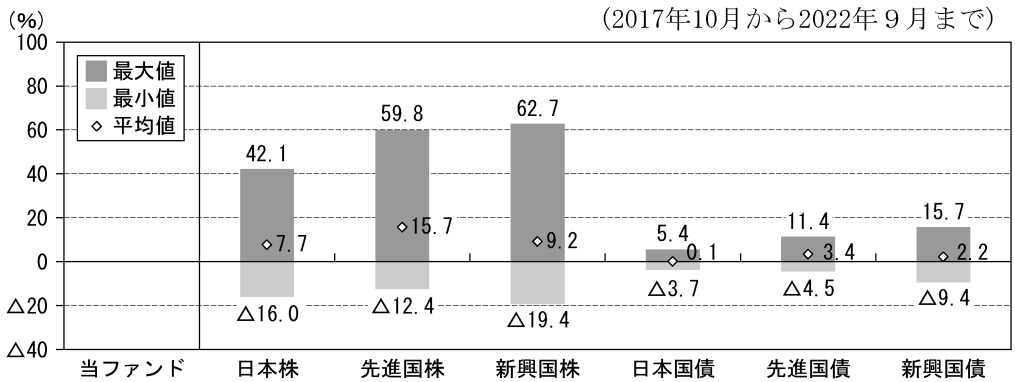
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2022年７月27日から2027年10月28日まで	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	外国投資信託証券である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」および国内の証券投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)	担保付スワップ取引を通じて、実質的に代表的な日本の株価指数を原資産としたプットオプションを売却する想定上の取引戦略に対するエクスポージャーを提供することにより、中長期的な資本成長の提供を目指して運用を行います。
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。	
分配方針	毎決算時(１月、４月、７月、10月の各28日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

【 参 考 情 報 】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2017年10月から2022年９月の５年間の各月末における直近１年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
(注) 当ファンドは2022年７月27日に設定されたため、表示対象となる数値はありません。

○各資産クラスの指数

日本株・・・・東証株価指数(ＴＯＰＩＸ)(配当込み)※1
先進国株・・・ＭＳＣＩコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)※2
新興国株・・・ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)※3
日本国債・・・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債※4
先進国債・・・ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)※5
新興国債・・・ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド(円ベース)※6
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数(ＴＯＰＩＸ)とは、株式会社ＪＰＸ総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。ＴＯＰＩＸに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研に帰属します。
※2 ＭＳＣＩコクサイ・インデックスはＭＳＣＩが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※3 ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※4 ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるＴ＆Ｄアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
※5 ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
※6 ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイドは、ＪＰモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はＪＰモルガン社に帰属します。

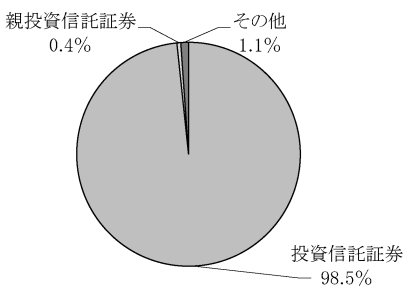
当 該 投 資 信 託 の デ ー タ

当該ファンドの組入資産の内容

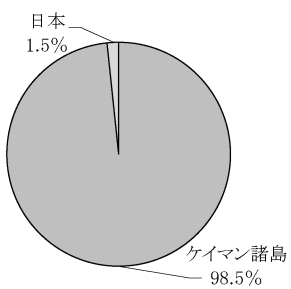
■ 組入(上位)ファンド(銘柄)

銘柄名	当期末 2022年10月28日 比率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)	98.5%
マネーアカウントマザーファンド	0.4
その他	1.1

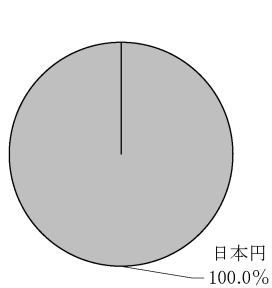
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入(上位)ファンド(銘柄)および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

純資産等

項目	当期末 2022年10月28日
純資産総額	671,215,849円
受益権総口数	668,106,260口
1万口当たり基準価額	10,047円

(注) 設定時元本額は180,541,287円、期中における追加設定元本額は487,564,973円、同解約元本額は0円です。

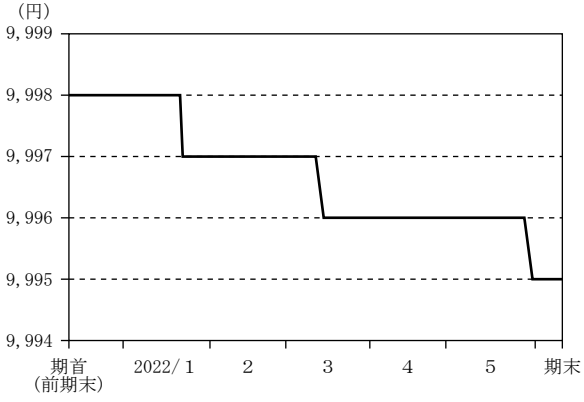
組入上位ファンドの概要

クレディ･スイス・ユニバーサル･トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)

2022年10月28日現在、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」は第１期決算を迎えておりませんので、開示対象となる情報はありません。

マネーアカウントマザーファンド　(2021年12月11日から2022年６月10日まで)

■ 基準価額の推移



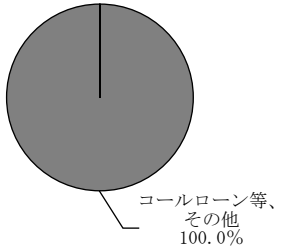
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

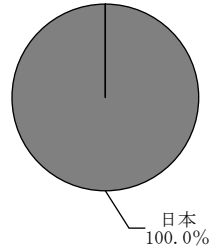
■ １万口当たりの費用明細

計算期間において発生した費用はありません。

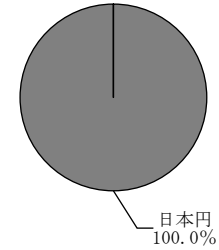
■ 資産別配分



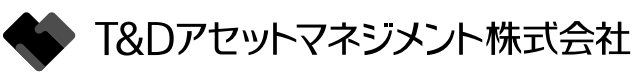
■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。


T&Dアセットマネジメント株式会社